

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月06日

計画の名称	平塚市防災・安全公共下水道整備計画（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～令和02年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	平塚市												
計画の目標	下水道施設の長寿命化や耐震化、並びに下水道による浸水対策を行うことにより、安全・安心な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,553	A	1,523	B	0	C	30	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	1.93	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28	H30	R2
1	床上浸水が発生している重点対策地区数を、7地区（H28）から0地区（R2）にする。 平塚市総合浸水対策重点対策地区の整備進捗率 床上浸水が解消した重点対策地区数（地区） / 床上浸水が発生している重点対策地区数（地区）	0%	28%	100%
2	下水道による都市浸水対策達成率を、77.3%（H28）から77.8%（R2）に増加させる。 下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済みの面積（ha） / 浸水対策を実施すべき面積（ha）	773%	775%	778%
3	東部ポンプ場（ポンプ棟及び沈砂池棟の建築部並びに土木部）における耐震化率を0%（H28）から88%（R2）に増加させる。 東部ポンプ場（ポンプ棟及び沈砂池棟の建築部並びに土木部）の耐震化率 耐震化完了済みの施設数（ポンプ棟及び沈砂池棟の建築部並びに土木部） / 耐震化を実施すべき施設数（ポンプ棟及び沈砂池棟の建築部並びに土木部）	0%	43%	88%
4	桜ヶ丘ポンプ場における耐震化対策工事に係る調査及び計画の達成率を0%（H28）から100%（R2）に増加させる。 桜ヶ丘ポンプ場における耐震化対策工事に係る調査及び計画の達成率 完了済みの調査及び計画 / 実施すべき調査及び計画	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
既計画から重点計画を切り出したため、成果指標については、事後評価等を関連事業と一体的に実施する。														

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	平塚市	直接	平塚市	管渠(雨水)	新設	平塚市総合浸水対策重点対策地区(浸水対策)	調査委託、管渠新設L=0.6km、A=4ha	平塚市						678	-	
		平成28年度及び平成29年度は、既計画で実施																	
	A07-002	下水道	一般	平塚市	直接	平塚市	管渠(雨水)	新設	雨水管未整備地区(浸水対策)	管渠新設A=2.56ha、実施設計	平塚市							80	-
		平成28年度及び平成29年度は、既計画で実施																	
	A07-003	下水道	一般	平塚市	直接	平塚市	ポンプ場	改築	東部ポンプ場(地震対策)	実施設計、ポンプ棟・沈砂池棟耐震化	平塚市							655	策定済
		平成28年度及び平成29年度は、既計画で実施																	
	A07-004	下水道	一般	平塚市	直接	平塚市	ポンプ場	改築	桜ヶ丘ポンプ場(地震対策)	耐震診断、総合地震対策計画策定	平塚市							110	-
		平成28年度及び平成29年度は、既計画で実施																	
												小計						1,523	
												合計						1,523	

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	C07-001	下水道	一般	平塚市	直接	平塚市	-	-	下水道浸水対策事業	排水ポンプ車の購入	平塚市						30	-		
		河川水位上昇等によるゲート等閉鎖時における内水の強制排除に資するもの。																		
											小計						30			
											合計						30			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
学識経験者等で更生された平塚市下水道運営審議会での、評価指標の実現状況及び今後の方針等について意見を求め、事後評価を実施した。	令和5年2月
	公表の方法 平塚市ホームページで公開
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>【指標】 「平塚市総合浸水対策基本計画」に基づいた浸水対策を実施し、浸水被害の軽減が図れた。</li> <li>【指標】 雨水整備を実施し、浸水被害の軽減が図れた。</li> <li>【指標】 東部ポンプ場の耐震性能を一部確保した。</li> <li>【指標】 桜ヶ丘ポンプ場の耐震診断を行ったことにより、下水道機能を確保するための耐震化に取り組むことができるようになった。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
引き続き、防災・安全交付金を積極的に活用し、下水道施設の耐震化並びに下水道による浸水対策を行うことにより、安全・安心な暮らしを実現し、良好な環境を創造していきます。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	平塚市総合浸水対策重点対策地区の整備進捗率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	57%
2	下水道による都市浸水対策達成率	
	最終目標値	778‰
	最終実績値	776‰
3	東部ポンプ場（ポンプ棟及び沈砂池棟の建築部並びに土木部）における耐震化率	
	最終目標値	88%
	最終実績値	88%
4	桜ヶ丘ポンプ場における耐震化対策工事に係る調査及び計画の達成率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%

(参考様式3)

計画の名称	平塚市防災・安全公共下水道整備計画(重点計画)		
計画の期間	平成28年度 ~ 令和2年度 (5年間)	交付対象	平塚市

